

1 児童数の推計について

(1) 計画時の推計値

本計画は、「流山市総合計画」をベースとして、計画区域を北部・中部・南部・東部の4区域に設定しています。

については、計画策定時の人口推計は、次のとおりとしました。

<人口の大きな乖離はみられない地域>

北部地区及び東部地区：総合計画の人口推計値を用いる

<つくばエクスプレスの開発により人口の流入が続いている地域>

中部地区及び南部地区：開発状況を加味した新しい人口推計値を用いる

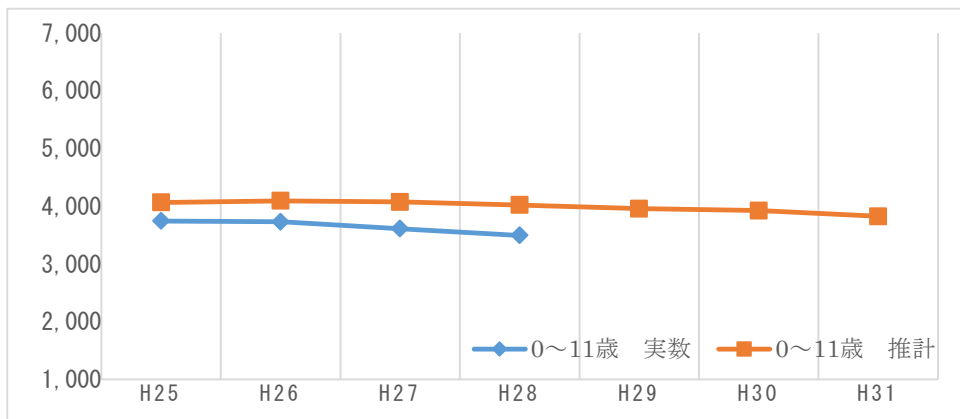
\*なぜ、児童数の推計をするのか…

児童数の推計は、計画を策定する上で基礎となる数字であり、推計値を用いて、量の見込みと確保方策を設定しています。

(2) 4地区の現状

①北部地区

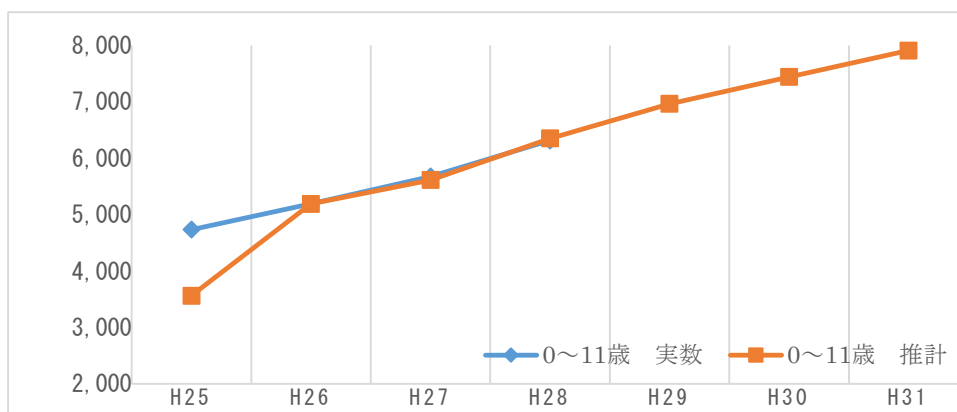
深井新田、平方村新田、西深井、東深井、平方、美原1～4丁目、中野久木、北、小屋、上新宿新田の一部、南、江戸川台東1～4丁目、江戸川台西1～4丁目、このす台、富士見台、富士見台1～2丁目、西初石1丁目の一部



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0～11歳 実数	3,742	3,728	3,609	3,493	—	—	—
0～11歳 推計	4,064	4,093	4,073	4,019	3,957	3,922	3,824
差	-322	-365	-464	-526	—	—	—

②中部地区

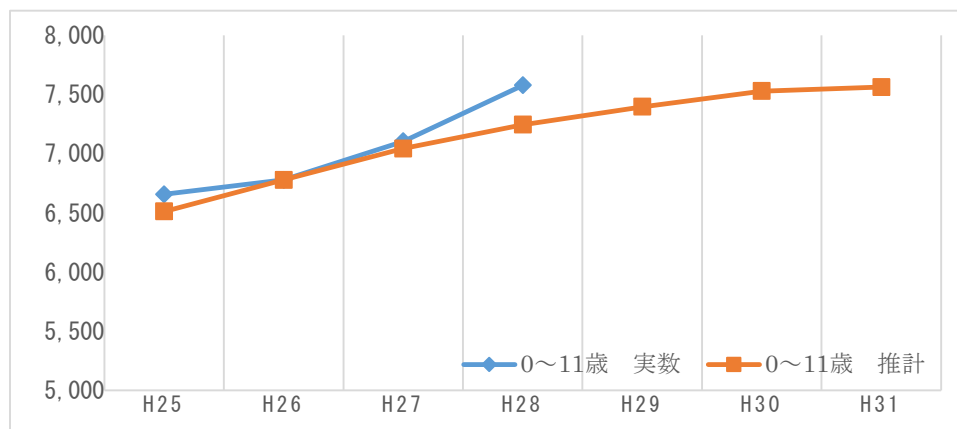
上新宿、上新宿新田の一部、桐ヶ谷、谷、上貝塚、下花輪、大畔、若葉台、駒木、駒木台、青田、十太夫、美田、東初石1～6丁目、西初石1丁目の一部、西初石2～6丁目



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0~11歳 実数	4,735	5,191	5,677	6,317	-	-	-
0~11歳 推計	3,561	5,191	5,613	6,353	6,965	7,442	7,912
差	1,174	0	64	-36	-	-	-

③南部地区

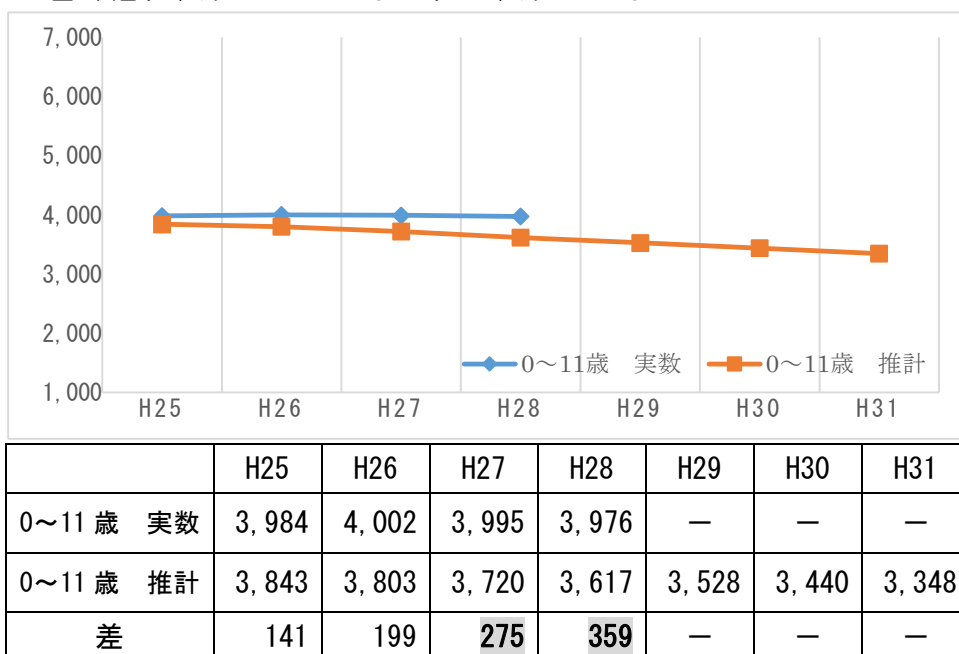
流山、流山1～9丁目、加、加1～6丁目、三輪野山、三輪野山1～5丁目、西平井、鱈ヶ崎、木、平和台1～5丁目、南流山1～8丁目、市野谷



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0~11歳 実数	6,657	6,779	7,104	7,579	-	-	-
0~11歳 推計	6,512	6,779	7,044	7,246	7,397	7,529	7,564
差	145	0	60	333	-	-	-

#### ④ 東部地区

宮園1～3丁目、思井、中、芝崎、古間木、前平井、後平井、野々下1～6丁目、長崎1～2丁目、前ヶ崎、向小金1～4丁目、名都借、松ヶ丘1～6丁目、西松ヶ丘1丁目



### (3) 現状分析

①人口が増加している地区…中部地区、南部地区

人口が減少している地区…北部地区、東部地区

②推計値と実数の乖離が見られる地区…南部地区、東部地区

推計値と実数の乖離が見られない地区…北部地区、中部地区

#### < 乖離の主な要因 >

南部地区→木地区及び西平井・鱈ヶ崎地区の区画整理事業によるもの。

東部地区→向小金小学校周辺及び野々下3丁目周辺の都市開発により、人口が微増しています。



#### ◎今後の動き

南部地区及び東部地区は、人口の増加が見込まれるため、乖離が見込まれます。また、中部地区に関しても、推計との乖離が生じるかは想定できませんが、人口の増加は見込まれています。

(4) 見直しの方向性

【案1】

乖離が見られる地区は、南部地区及び東部地区であるため、この2地区に関して、児童数の推計値を見込み直す。

【案2】

乖離が見られる南部地区及び東部地区と、今後、人口増加が予想される中部地区の3地区に関して、児童数の推計値を見込み直す。

<議論のポイント>

- ・児童数の推計値を見直す地区について (【案1】 or 【案2】)